

令和3年度 千葉市認知症介護実践研修（実践者研修）カリキュラム

研修リーダー（進行） 千葉市認知症介護指導者	第1回	寺崎 一永	月川 健太郎	第2回	高橋 由香利	高橋 秀明	第3回	石井 紀明	三和 由紀子	第4回	小西 謙吾	片岡 秀歩
---------------------------	-----	-------	--------	-----	--------	-------	-----	-------	--------	-----	-------	-------

日程	開始	終了	分	単元名	単元のねらい	講師等	研修リーダー（進行）	
1 日 目		9:00	9:10	10	開講式		研修実施機関	【第1回】 寺崎 月川 【第2回】 高橋由 高橋秀 【第3回】 石井 三和 【第4回】 小西 片岡
	【第1回】 5月31日(月)						【千葉市認知症介護指導者】	
		9:10	9:25	15	◆講義 認知症介護実践者研修のねらい	研修の目標、目指すべき人物像を示し、それに沿って研修カリキュラムが組み立てられていることを理解し、受講の方向性を明確にする	第1回 月川 健太郎 特養とまき園 生活相談員 第2回 高橋 由香利 すずらんクリニック 第3回 三和 由紀子 特養晴山苑 主任ケアワーカー 第4回 片岡 秀歩 ケアプランナー心 代表社員	
	【第2回】 8月10日(火)							
		9:25	9:50	25	◆講義 高齢者介護施策における 認知症介護の方向性と位置づけ	高齢者介護施策における認知症介護の方向性と位置づけを理解する	千葉市保健福祉局 地域包括ケア推進課 認知症対策班	
	【第3回】 10月3日(日)							
		10:00	11:00	60	◆講義 ～「過去」を知る。「未来」のために～ 認知症の状態にある人の歴史の理解	① 過去と同じ過ちを犯さないために、認知症の状態にある人に対し、奴隷的拘束・人権無視等が行われていた過去があることを知る ② 拘束が行なわれたり、劣悪な生活環境に閉じ込められたことの影響を知り、今後の自分の実践に活かす	【千葉市認知症介護指導者】 第1回 株式会社キューシップ 代表・介護福祉士 梅本 聡 第2回 社会福祉法人穂寿会 特別養護老人ホーム裕和園 統括課長 高橋 秀明	
	【第4回】 11月16日(木)							
		11:10	12:50	100	◆講義・演習 ～支援放棄は仕事放棄？～ 「職業倫理」と 「社会的役割イコール理念」への理解	① 職業人としての倫理観を養うとともに、支援専門職・福祉専門職のあるべき姿と、専門職として担っている社会的役割イコール理念について理解する ② 提供拒否の禁止やサービス提供困難時における支援についての理解を深める	【千葉市認知症介護指導者】 第1回 寺崎 一永 第2回 三和 由紀子 社会福祉法人晴山会 特別養護老人ホーム晴山苑 主任ケアワーカー 第3回 高橋 由香利 医療法人社団圭恵会 すずらんクリニック	
		12:50	13:40	50	【昼食・休憩】			
	13:40	15:20	100	◆講義 ～認知症って何ですか？～ 認知症の状態にある人の医学的理解	① 認知症という「病態」について理解するとともに、医学的理解が認知症の状態にある人への支援を行う上で必要とされる理由を理解する ② 認知症の病態から認知症の状態にある人本人の生活に及ぼす影響を示し、生活障害としての理解を深める ③ 加齢に伴う健康上の変化、認知症の原因疾患、中核症状、心理的特徴など、多角的な視点に基づいて行動・心理症状の発生要因を検討し、実際の支援につなげることが大切であることを理解する	医療法人社団澄乃会 理事長 向日葵クリニック 院長 中村 明澄		
	15:30	17:00	90	◆講義 ～何のための薬ですか？～ 認知症の状態にある人の薬への理解	① 認知症の状態にある人への支援における必要な薬と、不必要な薬について理解するとともに、薬に関する知識を持つことの重要性を知る ② 認知症の状態にある人と薬の関係について知識を持つことが、認知症の状態にある人のQOL向上ならびに支援における非薬物的介入につながることを理解する	【千葉市認知症介護指導者】 医療法人社団ゆうあい会 やりたクリニック 介護老人保健施設ユー・アイク楽部 看護部長 高橋 孝子		

日程	開始	終了	分	単元名	単元のねらい	講師等	研修リナー(進行)	
2 日 目	【第1回】 6月14日(月)	9:00	10:00	60	◆講義 ～意志決定支援と権利擁護～ 国民としての権利を護ることについて 考える	① 「認知症だから」「入居(利用)者だから」などという理由で、日常生活の中で制限されてしまう個人の自由や意思決定が、本来どのように保障されるべきかを理解する	【千葉市認知症介護指導者】 第1回 高橋 秀明 社会福祉法人 稲寿会 特別養護老人ホーム 裕和園 統括課長	【第1回】 寺崎
	② 虐待・拘束の定義と具体的内容を理解し、人権擁護の具体的な方法の理解を深める					第2回 石井 紀明 社会福祉法人 千葉勤労者福祉会 グループホーム ひまわり 施設長	【第2回】 高橋由	
	第3回 三和 由紀子 社会福祉法人 晴山会 特別養護老人ホーム 晴山苑 主任ケアワーカー					【第3回】 三和		
	【第4回】 11月26日(金)					10:10	11:10	60
	② 人としての暮らしを目指した支援においては、リスクとQOLのバランスをとり、予防・事故対策と人としての暮らしからかけ離れない生活環境を整えていく必要があることを理解をする	第2回 石井 紀明 社会福祉法人 千葉勤労者福祉会 グループホーム ひまわり 施設長	第3回 片岡 秀歩 合同会社 一心 ケアプラン 心 代表社員	第4回 月川 健太郎 社会福祉法人 常盤会 特別養護老人ホームときわ園 生活相談員	【第3回】 三和			
	11:20	12:50	90	◆講義・演習 ～住まいとは 住居に生活がくっついていること～ 認知症の状態にある人への 生活環境づくりを考える	① 住まいの様式や生活環境といった物理的環境の変化が認知症という病態にとって、良い意味でも悪い意味でも影響を及ぼすことを理解する。 また、影響を及ぼすからこそ、認知症の状態にある人を取り巻く生活環境の調整が重要であることを理解する	第1回 高橋 秀明 社会福祉法人 稲寿会 特別養護老人ホーム 裕和園 統括課長	【千葉市認知症介護指導者】 株式会社 マウントバード サービス付き高齢者向け住宅 なごみの郷 グループホーム きくまの家 ホーム長 滝澤 秀児	【第1回】 寺崎
					② 生活環境づくりでは、環境を「物理的、社会的、運営面」それぞれの要素から評価・検討することが重要であること知るとともに、一職員としてできる具体的な環境づくりがあることを理解する	第2回 石井 紀明 社会福祉法人 千葉勤労者福祉会 グループホーム ひまわり 施設長		
					第3回 片岡 秀歩 合同会社 一心 ケアプラン 心 代表社員			
					第4回 月川 健太郎 社会福祉法人 常盤会 特別養護老人ホームときわ園 生活相談員			
	12:50	13:40	50	【昼食・休憩】				
	13:40	14:50	70	◆講義 ～家族がささえる、家族をささえる～ 家族への理解と支援 そして協働を考える	① 家族の手に委ねられてきた介護を「社会化」すべく、介護保険制度がスタートしたが、現在、家族と介護をめぐる状況はどのように変わってきたのかを知る	公益社団法人 認知症の人と家族の会 千葉県支部		【第1回】 寺崎
					② 認知症の状態にある人のかかえる家族の思いや現状、専門職によるサポートのあり方、認知症の人と家族の会の意義などについて理解を深める	第2回 高橋 秀明 社会福祉法人 稲寿会 特別養護老人ホーム 裕和園 統括課長	【第2回】 高橋由	
第3回 石井 紀明 社会福祉法人 千葉勤労者福祉会 グループホーム ひまわり 施設長								
第4回 片岡 秀歩 合同会社 一心 ケアプラン 心 代表社員								
15:00	17:00	120	◆講義・演習 ～ふつうの暮らしからの乖離を防ぐ～ 地域資源の理解と活用を考える	① 地域とのつながり・地域の活用が大切と言われ、実践において「地域」というキーワードがよく用いられているからこそ、認知症の状態にある人が自立した日常生活を営むための「地域資源」とは何かを理解する	第1回 高橋 秀明 社会福祉法人 稲寿会 特別養護老人ホーム 裕和園 統括課長	【千葉市認知症介護指導者】 株式会社 いずみ 小規模多機能型居宅介護なるとう 総括管理者 秦 裕美		【第1回】 寺崎
				② 施設生活によって地域との関係が希薄になるとこれまでとは大きく異なる生活になってしまふことから、入居型施設における支援に地域資源を活用することが大切であることを理解するとともに、活用方法の実際を知る	第2回 石井 紀明 社会福祉法人 千葉勤労者福祉会 グループホーム ひまわり 施設長			
				③ 認知症の状態にある人の自宅又は居宅における生活を支えるためには、認知症の状態にある人本人だけでなく、介護者である家族を支えることも念頭に置き、既存の地域資源を支援に活用したり、暮らしを支える地域資源の提案や展開、多職種ならびに団体等との協働を支援専門職が行うことが大切であることを理解するとともに、方法の実際を知る	第3回 三和 由紀子 社会福祉法人 晴山会 特別養護老人ホーム 晴山苑 主任ケアワーカー			
				第4回 月川 健太郎 社会福祉法人 常盤会 特別養護老人ホームときわ園 生活相談員				
3 日 目	【第1回】 6月28日(月)	9:00	17:00	420	◆講義・演習 ～何に気づき、感じ、考えていこう?～ 認知症の状態にある人の アセスメントの本質と介護計画の展開	① 私たちは常に「何を見て」「どこを向いて」「どう感じて」「何を根拠に」認知症の状態にある人への支援を実践するべきなのかを理解する	東海大学健康科学部 社会福祉学科 専任講師 渡邊 祐紀	【第1回】 寺崎
	② 人が生活するために使っている力を捉えるために必要な認知症の状態にある人への支援における視点を確認する					【午後ファンテーター：千葉市認知症介護指導者】	【第2回】 高橋由	
	③ 認知症の状態にある人のアセスメントと介護計画の本質とは何かを学ぶとともに、認知症の状態にある人への支援の実践に活用し展開できるよう体験を通じて理解を深める					第1回 寺崎 一永・月川 健太郎	【第3回】 三和	
	第2回 高橋 由香利・高橋 秀明					【第4回】 小西		
	【第3回】 10月17日(日)	昼食時間60分/適時	12月6日(日)			第3回 石井 紀明・三和 由紀子	【第3回】 三和	
	第4回 小西 謙吾・片岡 秀歩					【第4回】 小西		

日程	開始	終了	分	単元名	単元のねらい	講師等	研修リダー (進行)		
4 日 目	【第1回】 7月1日(木)	9:00	12:00	180	◆講義・演習 ～基本的な生活場面を支えるために～ 認知症対応型「生活場面」支援技術	① 認知症の状態にある人の日常生活を支えるためには、食事、入浴、排せつ等の基本的な生活場面において認知症という病態を理解し、対応できる技術が必要であることを知る ② 基本的な生活場面ごとに知的能力、身体能力等の把握、分析イコールアセスメントが重要であることについて理解を深める ③ 認知症の状態にある人に基本的な生活場面において有する能力を活用してもらうための技術について、体験を通じて理解を深める	【千葉市認知症介護指導者】 株式会社キューシップ 代表・介護福祉士 梅本 聡	【第1回】 月川	
	【第2回】 9月1日(水)							【第2回】 高橋秀	
	【第3回】 10月31日(日)							【第3回】 石井	
	【第4回】 12月16日(木)	12:00	12:50	50	【昼食・休憩】			【第4回】 片岡	
5 日 目	【第1回】 7月12日(月)	9:00	11:20	140	◆講義・演習 ～どう作用する？あなたの言動～ かかわりや交流に必要な 知識・技術、そして視点	① 年配者とのかかわりや交流の原則を理解した上で、前単元の内容を踏まえ、認知症という病態を理解し、病態による様々な困難さを軽減することを意識してのかかわりや交流を行うことが大切であることを理解する ② 認知症の状態にある人とのかかわりや交流には認知症の病態を理解していればよいのではなく、その人の「健康状態、心身機能・身体構造、活動(生活行為)、参加(役割や出来事への関与)、環境因子、個人因子」を知るイコールアセスメントが重要であることを知る ③ 認知症という病態にとってその人を知るイコールアセスメントが不十分であると、支援する側の言葉だけでなく、表情、視線、身振りなどが自立した日常生活につながるきっかけにも、行動・心理症状の出現につながるきっかけにもなり得ることを理解する	【千葉市認知症介護指導者】 社会福祉法人穂寿会 特別養護老人ホーム裕和園 統括課長 高橋 秀明	【第1回】 寺崎 月川	
	【第2回】 9月10日(金)								【第2回】 高橋由 高橋秀
	【第3回】 11月6日(土)								【第3回】 石井 三和
	【第4回】 12月23日(木)	11:30	17:00	280	◆演習 自施設実習の課題設定	① これまで受講した講義・演習を振り返り、本研修で獲得した成果等を本研修の「目標」に到達するために「求められる6つの力」に活用できるようにする。 そのための自施設実習における自己課題と、自己課題の背景等を探り、自己課題解決への取り組みを設定する ② 自施設実習での取り組みについて、その手順、使用する資料や機材など、より具体的な企画書を作成することで、自己課題の解決への取り組みが実行可能なものとする	【千葉市認知症介護指導者】 寺崎 一永・月川 健太郎 梅本 聡・高橋 孝子・秦 裕美 高橋 由香利・日向 雅史 高橋 由香利・高橋 秀明 梅本 聡・秦 裕美・日向 雅史 小西 謙吾・月川 健太郎 石井 紀明・三和 由紀子 梅本 聡・永嶋 丈晴・高橋 由香利 日向 雅史・片岡 秀歩 小西 謙吾・片岡 秀歩 梅本 聡・高橋 孝子・秦 裕美 滝澤 秀児・石井 紀明	【第4回】 小西 片岡	
【自施設実習期間】				自施設実習 【4週間】	職場での4週間の実習を通じて、自己の設定した課題の達成を目指し、その成果を得る	【課題提出期限】			
第1回	令和3年7月13日～8月9日		第1回			令和3年8月12日(木)			
第2回	令和3年9月11日～10月8日		第2回			令和3年10月11日(月)			
第3回	令和3年11月7日～12月4日		第3回			令和3年12月6日(月)			
第4回	令和3年12月24日～令和4年1月20日		第4回	令和4年1月24日(月)					

日程	開始	終了	分	単元名	単元のねらい	講師等	研修リーダー (進行)			
6 日 目	【第1回】 8月16日(月)			◆発表・質疑応答 自施設実習の成果報告とまとめ	① 自施設実習で得られた成果を分かりやすく発表する	【千葉県認知症介護指導者】	【第1回】 寺崎 月川			
	第1回					寺崎 一永・月川 健太郎 秦 裕美・高橋 由香利 日向 雅史・滝澤 秀児				
	【第2回】 10月14日(木)	9:00	14:00			250		② 討議を通じ、得られた成果の活用について理解を深めるとともに、成果を客観的に評価、分析し、今後の課題を明確にする	高橋 由香利・高橋 秀明 齊藤 勝美・日向 雅史 小西 謙吾・三和 由紀子	【第2回】 高橋由 高橋秀
	【第3回】 12月12日(日)							石井 紀明 齊藤 勝美・永嶋 丈晴・高橋 孝子 日向 雅史・寺崎 一永	【第3回】 石井	
	【第4回】 1月28日(金)	昼食時間50分/適時				小西 謙吾・片岡 秀歩 高橋 孝子・秦 裕美 日向 雅史・滝澤 秀児	【第4回】 小西 片岡			
		14:10	15:20	70	◆質疑応答 ～疑問、疑念、もっと深めたいこと～ 実践者研修総まとめ	① 講義・演習ならびに自施設実習において抱いた疑問を解消しないまま研修を終えるのではなく、その時に抱いた疑問・疑念は意見交換を通じて本研修において解決し、自身の知識・技術・意識に転換して実践(職場)へ戻る	【千葉県認知症介護指導者】	【第4回】 小西 片岡		
						第1回 秦 裕美・日向 雅史 滝澤 秀児・寺崎 一永 【司会進行】月川 健太郎				
						第2回 齊藤 勝美・梅本 聡・高橋 秀明 【司会進行】高橋 由香利				
					② 認知症介護指導者との質疑応答を通じ、本研修における各単元で自らが取りこぼしたと感じる、もっと深めたいと思う、「知識・技術・意識」を獲得する	第3回 齊藤 勝美・永嶋 丈晴 高橋 孝子・日向 雅史 【司会進行】石井 紀明				
		15:30	15:50	20	◆講義 「認知症介護実践者等養成事業」を理解する	厚生労働省が示している「認知症介護実践者等養成事業」の概要ならびに養成事業に含まれる「認知症介護実践リーダー研修」の詳細を理解し、実践者研修修了後の自分自身のステップアップ像を考える	【千葉県認知症介護指導者】			
							第1回 月川 健太郎 特養ときわ園 生活相談員			
							第2回 三和 由紀子 特養晴山苑 主任ケアワーカー			
						第3回 石井 紀明 グループホームひまわり 施設長				
						第4回 片岡 秀歩 ケアプラン心 代表社員				
	15:50	16:10	20	レビュー用紙の記入						
	16:10	16:40	30	修了式(修了証書交付)		研修実施機関				